

# 甲状腺癌アイソトープターゲットングに及ぼすヨード(I-127)摂取量の影響

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-05-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Yokoyama, Kunihiro メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00061843">https://doi.org/10.24517/00061843</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



[◀ Back to previous page](#)

# 甲状腺癌アイソトープターゲティングに及ぼすヨード(I-127)摂取量の影響

Research Project

Project/Area Number	17591258
Research Category	Grant-in-Aid for Scientific Research (C)
Allocation Type	Single-year Grants
Section	一般
Research Field	Radiation science
Research Institution	Kanazawa University
Principal Investigator	横山 邦彦 金沢大, 医学部附属病院, 講師 (60230661)
Co-Investigator(Kenkyū-buntansha)	柴 和弘 金沢大学, 学際科学実験センター, 助教授 (40143929)
Project Period (FY)	2005 - 2007
Project Status	Completed (Fiscal Year 2006)
Budget Amount *help	¥2,400,000 (Direct Cost: ¥2,400,000) Fiscal Year 2006: ¥1,000,000 (Direct Cost: ¥1,000,000) Fiscal Year 2005: ¥1,400,000 (Direct Cost: ¥1,400,000)
Keywords	アイソトープ / 内照射治療 / 甲状腺癌 / I-127 / 無機ヨウ素

## Research Abstract

無機ヨウ素(I-127)の成人1日必要量は150µgであるのに対して,日本人の平均摂取量は,欧米人よりも極端に多く750~1,000µg程度である.放射性ヨード(I-131)による甲状腺癌のターゲティング療法は,転移・再発例の唯一の効果ある治療法である.この療法を行う場合には,治療効果を可及的に高めるための前処置として,嚴重なヨード摂取制限を2週間以上行う.何故なら,3,700MBq(100mCi)の治療用放射性ヨード(I-131)に含まれるヨードの重量は,わずか10µgに過ぎないためである.症例毎にライフスタイルやヨード含有食品(海藻類)の摂取習慣および体内のヨードプールが異なり,画一的なヨード摂取制限プロトコールには限界がある.さらに,近年,思いもよらぬさまざまな食品・飲料(鮭,アサヒ十六茶やアクエリアス)にヨードが含まれることが判明してきたため,ヨード摂取制限をなお一層困難にしている.

今年度は,無機ヨウ素の定量法法を検討し,種々の食品でのヨウ素含量を実測した.実測の検出限界は,0.05mg/100gであった.

アジ0.01-0.03mg/100g,サバ0.01-0.02mg/100g,サンマ0.01g/100g,タイ0.02-0.03mg/100g,カレイ0.01-0.02mg/100g,ヒラメ0.01-0.02mg/100g,マグロ0.01-0.02mg/100g,サワラ0.02mg/100g,サケ0.01-0.02mg/100g,アサリ0.01mg/100g,ハマグリ0.02mg/100g,シジミ0.01mg/100g,甘エビ0.01-0.02mg/100g,十六茶0.02mg/100g,アクエリアス0.01mg/100gポカリスエット0.01mg/100g

海産物に関してはヨウ素含量が比較的少なく,また含有物として昆布エキスを含む飲料もヨウ素含量は1日必要量は150µgに対して,十分許容範囲内であった.

## Report (1 results)

2005 Annual Research Report

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-17591258/>

Published: 2005-03-31 Modified: 2016-04-21